

挽歌

作詞 千家和也
作曲 浜圭介

□□

やはりあのひとは
私を送りに来なかった
にぎあう夕暮れ 人ごみの中
秋はただバスを待つ
悲しみだけを 道案内に
思い出色の 洋服を着て
つらくないと 言えば嘘だわ
あのひとのことが気がかりだけど
秋は今バスに乗る

たぶんあのひとは
秋を恨んで いるでしょう
冷たい女と 思われながら
私はただバスを待つ
ひとりで朝は 起きられますか
ハンカチの場所 わかるでしょうか
あとのひとと うまくやってね
うしろ髪ひかれ 涙にぬれて
秋は今バスに乗る

挽歌

作詞 千家和也
作曲 浜圭介

1.

□■

やはりあのひとは
私を送りに来なかった
にぎあう夕暮れ 人ごみの中
秋はただバスを待つ
悲しみだけを 道案内に
思い出色の 洋服を着て
つらくないと 言えば嘘だわ
あのひとのことが
気がかりだけど
秋は今バスに乗る

挽歌

作詞 千家和也
作曲 浜圭介

2.

■■ たぶんあのひとは

秋を恨んで いるでしょう

冷たい女と 思われながら

私はただバスを待つ

ひとりで朝は 起きられますか

ハンカチの場所

わかるでしょうか

あとのひとと うまくやってね

うしろ髪ひかれ 涙にぬれて

秋は今バスに乗る